

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民会議・附属機関等への市民参加及び女性参画推進事業						
事業担当	総務部 行政総務課						
予算科目	'00-'xxxxxx-'xx0000	事業種類	○ハード ●ソフト				
行政改革の位置付け	'11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために					
	'01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために					
	'02	2 多様な意見を行政運営に活かすしくみ					
根拠法令等							
対象・受益者				事業期間			
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】						
目的・目標				事業の概要			
市の条例案や計画案等の策定に際して、多様な市民意見を行政運営に反映することにより、公正性や透明性が確保されています。				必要と認められる附属機関等については委員の公募を積極的に推進します（市民委員の参画がなじまないものは除く）。また、施策等決定過程の場への女性の参画機会の拡大を図るため、附属機関等の女性構成比率を高めるように努めます。			

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	公募実施状況等調査及び選出基準周知実施回数						単位	回
	説明・算定式	附属機関等を所管する関係課へ公募実施状況等に係る調査を実施し、あわせて選出基準の周知・指導を行う。							
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	実績	1	1	1	1	1	1	1	
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	実績								
成果指標①	指標名	市民委員が参画する附属機関等における公募委員の割合						単位	%
	説明・算定式	公募委員数/市民委員が参画する附属機関等委員数×100							
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	実績	17.0	17.3	18.1					
成果指標②	指標名	附属機関等における女性委員の割合						単位	%
	説明・算定式	女性委員数/附属機関等委員総数×100							
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	実績	32.0	32.3	33.4					
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成24年度の主な取組と成果									
女性委員数の割合については、24年度は33.4%で、23年度よりも1.1ポイントの増となりました。公募委員の割合については0.8ポイント増の18.1%となっています。									
平成24年度の検証結果	B：おおむね成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> その他	附属機関等における公募委員及び女性委員の選出割合を高めていくことは、多様な意見を市政に反映させるためには必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	附属機関等における公募市民や女性委員の割合を高めることは、市民の視点に立ったサービスの提供につなげていくためには、有効な手段であると考えます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	「附属機関の設置及び委員の選出に関する基準」及び「附属機関への女性の参画促進について(指針)」に基づき、公募市民や女性委員の割合を高めることは、多様な市民意見を反映させる手法として妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	公募委員と女性委員の選出割合を改善していくための手法については検討の余地があるかと考えます。	○ 高 ○ 中 ● 低
今後に向けた課題の分析 附属機関の委員については、各種関係機関に委員の推薦を依頼しているものが多く、それら関係機関における女性比率の向上が女性委員の増加につながるものと考えます。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額	平成26年度 試算額	平成27年度 試算額	平成28年度 試算額
事業内容		附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
	事業費 (A)	0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		-	-	-	-	-	-	-
内訳	職員 (人)	0.30	0.25	0.25	0.20	0.20	0.20	0.20
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		2,478	2,026	2,004	1,590	1,590	1,590	1,590
フルコスト (A+B)		2,478	2,026	2,004	1,590	1,590	1,590	1,590

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 公募委員と女性委員の選出割合の向上について引き続き各担当課への働きかけを行うこととし、現状規模での継続とします。	
平成26年度の取組方針	
公募委員と女性委員の選出割合の向上について、引き続き各担当課に働きかけを行います。	
課長コメント	
引き続き、公募委員と女性委員の選出割合の改善に向けて、各担当課への働きかけを行っていく必要があると考えます。	

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	住民実態調査事業		
事業担当	総務部 行政総務課		
予算科目	'01-'020502-'980000	事業種類	○ハード ●ソフト
行政改革の位置付け	'11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	'01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	'02	2 多様な意見を行政運営に活かすしくみ	
根拠法令等	平塚市住民の実態調査に関する条例		
対象・受益者	市民	事業期間	～ 平成24年度
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
住民実態調査を行い、より多くの市民意見が施策に反映されています。		行政の効率的な運営に資するため、住民実態調査を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名								単位	
	説明・算定式									
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	目標									
実績										
活動指標②	指標名								単位	
	説明・算定式									
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	目標									
実績										
成果指標①	指標名	調査票の有効回収率							単位	%
	説明・算定式	回収率は調査テーマにより変動があるが、長期的には下落傾向にある。このため直近5回の平均である45.1%の維持を指標とする【23年度回収率：38.1%】								
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	目標			45	-	-	-	-		
実績			50.0							
成果指標②	指標名								単位	
	説明・算定式									
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	目標									
実績										
進捗状況	①：予定どおり									
	遅れている理由									
平成24年度の主な取組と成果										
3,000人の市民を対象に調査しました。「こころの健康づくり」という市民生活に関わりが深いテーマであったことから、回収率は前年度より約12%増え、50.0%となりました。調査結果は市民の総合的なこころの健康づくり、自殺対策を推進するための基礎資料として活用されます。										
平成24年度の検証結果	A：成果があがった									

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	平塚市民の実態や意識を調査することによって、市民ニーズを把握することができます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	平塚市民の実態や意識を調査することによって、市民の施策に対する満足度を把握し、その結果を施策の展開に反映することができます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民の実態や意識を調査することは、事業や施策の展開に必要なものなので、妥当性は高いと判断します。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	調査対象数については、検討の余地があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額	平成26年度 試算額	平成27年度 試算額	平成28年度 試算額
事業内容		調査内容・項目の検討	内容・項目の検討、調査設問の検討、実施、結果報告書の作成・公表等	調査設問の検討、実施、結果報告書作成・公表、内容・項目の検討等				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	1,197	1,148	0	0	0	0
事業費 (A)		0	1,197	1,148	0	0	0	0
執行率 (%)		—	70.54	79.17				
内訳	職員 (人)	0.30	0.55	0.55	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		2,478	4,794	4,749	0	0	0	0
フルコスト (A+B)		2,478	5,991	5,897	0	0	0	0

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の事業の方向性
<input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input checked="" type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合
<判断理由> 平成24年度に実施した事業仕分けの結果を受け、市民意識の調査については別の形にて実施することとしたため、現行の住民実態調査に係る事業は平成24年度をもって廃止します。
平成26年度 of 取組方針
課長コメント
平塚市の住民実態調査に関する条例に基づき実施してきましたが、条例制定時の目的が達成されたことから本事業を廃止します。今後は市民の意識や行動、要望等の経年変化や、本市の施策に必要な基礎資料を収集するための調査を検討、実施します。

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民と市長の対話集会実施事業		
事業担当	市民部 市民情報・相談課		
予算科目	'00-'xxxxxx-'xx0000	事業種類	○ハード ●ソフト
行政改革の位置付け	'11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	'01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	'02	2 多様な意見を行政運営に活かすしくみ	
根拠法令等			
対象・受益者	事業期間		
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
市民と市長が直接意見交換を行い、市民からの様々な意見や提案が可能な限り行政運営へ反映されているとともに、会議の概要や結果について公表され、市民との情報共有が進展しています。		市民と協働して魅力あるまちづくりを進めるため、市長が地域に出向き、市民と直接対話を行うことで、市民の視点からの発想を生かした行政運営を推進していくとともに、市政への理解を深めてもらうことを目的として開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	「市長と語ろう！ほっとミーティング」の実施回数						単位	回
	説明・算定式	市民と協働して魅力あるまちづくりを進めるため、市長が地域に出向き、市民と直接対話を実施した回数							
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	目標			16	11	-	-	-	
	実績			14					
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	市民から提案され検討する意見の件数						単位	件
	説明・算定式	「市長と語ろう！ほっとミーティング」で市長と意見交換した市民から提案され検討する意見の件数							
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	目標			32	22	-	-	-	
	実績			81					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	②：若干遅れている								
	遅れている理由	地元自治会連合会との調整がつかず14地区での実施となったため。							
平成24年度 の検証結果									
A：成果があがった									
市長が市内14地区(地区自治会連合会単位)を訪問し、市民と協働して魅力あるまちづくりを進めるため、「あなたの地域のまちづくり」をテーマに対話集会を実施しました。計416人(参加者214人、傍聴者202人)の市民の参加がありました。結果については、報告書としてまとめ、参加者にフィードバックしました。なお、対話集会の内容及び意見の市政への反映状況は、ホームページ等により広く市民に情報提供を行っています。									

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民と協働して魅力あるまちづくりを進めるため、市長が地域に出向き、市民と直接対話を行うことで、市民の理解を深め、市民の視点から行政運営を行うため必要な取組です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	市民からの生きた声を聴取し、市全体のまちづくりや市民満足度を高めた政策・施策展開に反映します。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民に身近な市政の実現のため必要です。また、地域の課題を地域の皆さんと一緒に考えることは協働の観点からも妥当な事業です。現行の業務執行体制で取り組んでいきます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	地域ごとの課題を広く聴取し市政に反映するものであることから、行政が直接行うべき事業です。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 14地区で実施した対話集会により寄せられた意見等の市政への反映状況の確認と施策への反映に努めていきます。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額	平成26年度 試算額	平成27年度 試算額	平成28年度 試算額
事業内容				市長が各地区を訪問し、市民との対話により地域の課題等を広く吸収	市長が各地区を訪問し、市民との対話により地域の課題等を広く吸収			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.95	0.95	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	7,615	7,551	0	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	7,615	7,551	0	0	0

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 平成25年度は、平成24年度で実施できなかった市内12か所の公民館(地区自治会連絡協議会単位)に実施し、市長が訪問し地域の課題等を広く吸収します。平成26年度以降の事業の方向性については、手法、位置づけ等を含め、引き続き検討します。	
平成26年度の取組方針	
平成26年度については、対話集会実施に参加者・傍聴者から提出されたアンケート等をもとに、取組方針を検討します。	
課長コメント	
市長が地域に伺い、市民の皆様と対話をとおり、市民のご意見やご提案をお聞きし、市長が市政の運営に活かしていく目的で実施している「市長と語ろう！ほっとミーティング」は、市民が行政の理解を深めていくためにも重要な取組であると考えます。今後、地域からの意見等を施策にいかん反映していくかが課題であると考えます。	